資料２－２

令和８年度第２回障害者施策推進協議会
第４次島本町障害者計画進捗状況説明内容

他の計画の進捗報告と合わせ、様式を変更しております。
現行計画について、主に令和７年度・令和８年度に拡充・見直し等を行った主な事業について説明しております。」

【基本目標２】　生活の基礎となる健康の保持・増進を支援する
２．医療
５ページ　２－１－（２）　健康づくり・リハビリテーションの支援
②在宅障害者に対する健康管理の支援
　令和７年１０月より通院が困難な身体障害者等に対し、「訪問歯科検診」を実施し、在宅障害者に対する健康管理の支援を拡充しております。

７ページ　２－２－（３）　医療的ケアへの支援
③福祉サービスに対する支援
　実施状況・成果蘭にあります下の★について、令和８年度から生活介護事業所において、医療的ケアが必要な方を受け入れる際の看護師配置・備品整備費用に対する補助金を創設しました。令和８年度において、医療的ケアが必要な方の町内受入については、２施設３名の方が利用されておられます。
　今後は、医ケア児への対応の働きかけが必要であり、補助金の範囲の拡充等も検討していく必要があります。

【基本目標４】　必要なサービスを確保し、地域での暮らしを支援する
２．生活支援
１４ページ　４－２－（２）　地域生活を支援する福祉サービスの充実
②障害福祉サービスの充実
　障害者福祉サービスの充実を図るため、各種補助金に見直しを行いました。
　③「重度重複障害者支援事業補助金」及び④「短期入所安心配置事業補助金」については、主に各種事業に係る人件費相当分を補助しておりましたが、近年の物価上昇に合わせ、単価を増額いたしました。
　⑤「障害福祉サービス等事業所開設支援補助金」については、これまでは日中活動系の事業所のみの家賃補助としておりましたが、就労支援事業所や訪問系の事業所の新規開設時の家賃補助も対象とするよう拡充を行いました。

資料２－２

１５ページ　４－２－（３）　住まいの場の確保

①グループホームの充実

　グループホームの新規開設にあたり、近年は少人数グループホームより１０～２０人程度の大規模グループホームを開設することが主流にあることから、グループホームに入居する人数によって補助額が変動していた本町の「グループホーム開設支援補助金」について、その上限額を２００万円から７５０万円に拡充しました。

【基本目標５】　就労と社会参加を支援する

２．生きがい・社会参加

１９ページ　５－２－（２）　生涯学習の推進

　町立図書館において、令和７年度に視覚障害者等情報総合ネットワーク「サピエ」に加入し、令和８年度には音声読み上げ機能付き拡大読書器を導入したことで、視覚障害者への図書館利用の環境整備を整えてまいりました。

【基本目標６】　安全・安心で、すべての人にやさしいまちをつくる

１．情報・意思疎通支援

２２ページ　６－１－（２）　意思疎通支援の充実

①手話通訳による意思疎通支援

　聴覚障害者が役場に来庁せずとも各種手続き等の問い合わせができるよう役場全庁的に「手話リンクサービス」を導入し、町ホームページからアクセスすることで手話通訳を介して、問い合わせ及び回答を得ることができるようになっております。